



## 卒業証書授与式 50名の巣立ち

3月9日(土) 令和5年度卒業証書授与式を挙行了しました。各自治協会長様や各コミセンセンター長様、学校運営理事様等、ご来賓の皆様やご家族、在校生に見守られ、50名の卒業生は向陽中学校を巣立っていきました。向陽中学校での3年間は、コロナ禍で多くの学校行事の中止や変更はもちろん、学校生活の中でも様々な活動が制限されていました。昨年5月に感染症法上の2類から5類への引き下げにより、この1年間は徐々に以前の生活を取り戻し、充実した活動に取り組めたと思います。最上級生として部活動はもちろん、生徒会活動においても向陽中学校の活躍を引っ張ってくれました。誰に対してもやさしく、何事にも誠実に取り組める卒業生の皆さんだからこそ、新たなステージでも必ず活躍してくれるものと確信しています。皆さんのスローガン「**常昇気流**」を胸に、それぞれの夢に向かって挑戦し続けてください。ご活躍をお祈りします。



### 【答辞】卒業生代表 福田美紅 さん



春の暖かな日差しが降り注ぎ、力強い命の息吹が感じられる季節となりました。今日、私たちは、卒業します。

思い起こせば、三年前。期待に胸を膨らませ、この体育館から、中学校生活の第一歩を踏み出しました。あの頃、毎日が新鮮で、驚きの連続でした。一方で、新しい人間関係に戸惑い、最初は、同じ出身小学校だけで固まることもありました。しかし、多くのふれあいを通して、少しずつ、新しい友達や先生方と打ち解けていきました。二年生になると、後輩ができ、先輩としての自覚も徐々に出てきました。夏には、部活動で、世代交代を迎えました。大好きな先

輩方が引退され、少人数でのきつい練習に、何度も逃げ出したくなりました。「上級生として、技術的にも精神的にも手本とならなくてははいけない。」と思うものの、空まわる日々。そんな情けない自分を、先生方が粘り強く指導してくださり、そして、仲間が支えてくれました。

「常昇気流～光輝く個性と共に～」というスローガンのもと、生徒会を受け継いだのも二年生でした。これまで、人前に出ることが苦手だった私たちが、「向陽中をより良くしたい」という強い思いで、新役員に多くの方が立候補しました。いざ、リーダーという立場になって初めて、その大変さに気づくことも多く、先輩方の偉大さを改めて感じました。

そして、三年生。人権集会では、「二番目の悪者」という絵本を用いて、いじめをテーマに話し合いました。「銀のライオンは、何も悪くないのに、なぜあんなにも悲しい結末になったのだろう」と、全校で真剣に考えました。いじめは加害者だけでなく、周囲の人の行動で被害が大きくなることもある。うわさをうのみにせず、正しいことを判断することが大切だという意見が、口々に出てきました。

また、だんだんBOXは、お互いを感謝し合うメッセージであふれました。さらに、月別で掲示した生徒会目標にむけて、全校が一丸となって目標を達成しようとしていました。こうした活動の中で、さらに温かい向陽中へと、一步ずつ、上昇しているように感じました。

秋晴れのもと行われた体育祭。準備では、思いを主張しあい、揉めてしまうこともありましたが、これまで大きなトラブルのなかった私達にとって、これが初めての経験だったかもしれません。話し合いを重ねたことで、以前よりも強い絆が生まれました。当日は、全校が熱く燃え、最高の思い出となりました。

部活動でも、最後には、当たり前前のレベルを、少しでも上げることができたと思っています。頑張ったからこそ、達成感も大きいです。その他、文化祭や職場体験など、私たちは、充実した三年間を走り抜くことができました。ひとえに、今まで支えてくださった方々のおかげです。

在校生のみなさん。生徒会活動も部活動も、皆さんの協力があったからこそ、やり遂げることができました。次は、向陽中の伝統を受け継ぎ、さらに「百花繚乱・個性の花」で彩られた、すばらしい学校にしてください。今まで私たちについてきてくれて、ありがとう。



先生方。私達に、惜しみない愛情を注いでいただきました。悩みや不安を受け止め、たくさん褒めてくださいました。厳しくも温かい先生方のこと、決して忘れません。

地域の皆様。登下校など、いつも温かく見守っていただき、ありがとうございました。皆さま方のご支援のおかげで、たくさんのご縁ができました。そのことを心に刻み、ふるさとに誇りを持ち、いつの日かふるさとに貢献できる大人に成長していきます。

家族のみんな。十五年間、育ててくれてありがとう。健康に気遣ったおいしいご飯を作ってくれたり、大会の送迎も毎回してくれたりしたね。機嫌が悪い時には、反抗してごめんなさい。それなのに、いつも味方でいてくれてありがとう。大事な大会直前、人生で一番反抗してしまった私に、大好きなお菓子を、そっと渡してくれたね。実は、とっても嬉しかったです。これからも、迷惑かけるだろうけど、よろしくをお願いします。

最後に、三年生のみんな。仲良くしてくれてありがとう。私達は、マスクをつけたままの入学式だったね。当たり前で過ごせる日々がいかに幸せなことであるのか、私たちはこの三年間、ずっと、かみしめて過ごしていたように思います。誰かがいつの間にか手伝ってくれている、「ありがとう」という言葉が飛び交う教室、辛い時にそっと寄り添ってくれる、そんな思いやりあふれるみんなが大好きでした。今まで、本当に、ありがとう。

別れの時が迫ってきました。十三年前に起こった東日本大震災、令和元年から私たちの生活様式を大きく変えた新型コロナウイルス、また、今年一月一日に起こった能登半島地震など、大きな紛争や災害の中、私たちは過ごしてきました。この時代を生きて、学び、考えたことを風化させることなく、私たちはそれぞれの道で、自分の目標に向かって歩いていきます。これからの人生、時には壁にぶつかることもあるかもしれませんが、しかし、向陽中での三年間を糧に、いつまでも上昇し続けていくことを誓い、答辞といたします。



【送辞】在校生代表  
三島和日帆さん



向陽中学校の生徒たちの活動の様子をお知らせするためブログを公開しています。右のQRコードを読み取っていただくか、URLよりアクセスしてください。

<https://blog.izumo.ed.jp/koyo-chu/>

